

授業科目	高齢者理学療法学	3 学年・後期・2 単位 (60 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	山田崇史 (保健医療学研究棟 E407 号) e-mail : takashi.yamada1976@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、佐々木健史、井平光、木島輝美、田代英之、(松崎由里子)、(綿谷美佐子)、(仙野堅太)、(竹内俊介)、(櫻田周)、(秋田孝郎)、(牧野圭太郎)		
概要	高齢期の疾病、障害構造を理解しつつ、生理・生物学的、心理・認知的、社会的老化の影響を考慮して、高齢者を対象とした理学療法において、適切な評価と理学療法介入プログラムを立案することを学習する。		
到達目標	1. 高齢期の疾患・障害の特徴を言える 2. 心身、および社会的老化を説明できる 3. 居宅系リハビリテーションサービスの種別を説明できる 4. 運動、心理・認知、社会機能について適切な評価が実施できる 5. 介護老人保健施設やデイサービスにおける、対象者の課題を ICF にて説明できる。		
関連科目	「運動器障害学」などの臨床系講義や「地域理学療法」などで学んだ知識・技術を本科目で発展させ、「臨床実習」の円滑な遂行に結びつける。		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	80%	
	レポート	20%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	(介護保険領域を主とする)維持期や生活期を中心とした高齢者の理学療法の考え方や技術、理学療法プログラムの立案について学ぶ。それまでに受講した関係が深い領域の復習を十分に行って受講することが求められる。参考書などは適宜指定する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	高齢者理学療法の現状と課題	事後：講義内容の要約作成	講義・演習	菅原
2	高齢者における諸機能の評価(ICF)	事前：前回の復習 事後：次回の予習	〃	〃
3	高齢者の心身機能および活動の評価 1	〃	〃	田代
4	高齢者の心身機能および活動の評価 2	〃	〃	〃
5	高齢者と認知症 1	〃	〃	木島
6	高齢者と認知症 2	〃	〃	〃
7	予防理学療法と地域在住高齢者の社会的サポート 1	〃	〃	田代
8	予防理学療法と地域在住高齢者の社会的サポート 2	〃	〃	〃
9	健康高齢者および要介護高齢者の運動機能と理学療法	〃	〃	〃

10	高齢者に対する運動処方	〃	〃	山田・田代
11	リハプログラムの立案演習	〃	〃	〃
12	デイサービスにおける理学療法・理論1	〃	〃	(綿谷)
13	デイサービスにおける理学療法・理論2	〃	〃	〃
14	リハ実施計画書の内容	〃	〃	菅原
15	介護老人保健施設における理学療法的評価・介入	〃	〃	(仙野)
16	在宅高齢者における理学療法・理論	〃	〃	(竹内)
17	介護保健領域における多職種連携	〃	〃	(櫻田)
18	介護老人保健施設におけるリスク管理1	〃	〃	(秋田)
19	介護老人保健施設におけるリスク管理2	〃	〃	〃
20	健康増進/予防理学療法分野の理解1	〃	〃	(松崎)
21	健康増進/予防理学療法分野の理解2	〃	〃	〃
22	地域包括ケアシステムと理学療法	〃	〃	田代
23	高齢者のがんおよび併存疾患の理解1	〃	〃	井平
24	高齢者のがんおよび併存疾患の理解2	〃	〃	〃
25	老年症候群と理学療法1	〃	〃	(牧野)
26	老年症候群と理学療法2	〃	〃	〃
27	高齢者理学療法のまとめ1-1	〃	〃	菅原・佐々木・田代
28	高齢者理学療法のまとめ1-2	〃	〃	〃
29	高齢者理学療法のまとめ2-1	〃	〃	〃
30	高齢者理学療法のまとめ2-2	〃	〃	〃